

ドリブル

オールリーグ 2022年度終了 鶴が台オールド

12年振りの優勝!

第 525 号

発行：
茅ヶ崎サッカー協会
広報委員会

(Web版 030号)

2022年度は3月18日でオールリーグが終了しました。

ウイト東海岸オールドの10連覇を阻止した鶴が台オールドの12年ぶりの優勝で幕を閉じました。

最終戦も混乱の2022年度を象徴するかのような、荒天の中での試合となり、当日は、試合結果により順位が前後する試合が4試合行われました。優勝チームの鶴が台オールドも敗戦し、勝点を重ねる事が出来ませんでした。

参加チームの皆さん、寒い雨の中での試合お疲れ様でした。

2023年度も今期と同じ13チームで、6月17日よりリーグ戦を開始する予定です。

各チーム、オールリーグの運営に引き続きのご協力をお願い致します。

オールリーグ委員会 委員長 斎藤 俊



【優勝：鶴が台オールドのメンバー】

【リーグ戦成績】

- 優勝：鶴が台オールド
- 準優勝：ウイト東海岸オールド
- 第3位：湘南茅ヶ崎FC赤羽根



2022年度茅ヶ崎オールリーグ成績表

	東海岸	鶴が台	今宿	鶴嶺	赤羽根	浜見平	松浪	1FC	浜須賀	S. F. C	みずき	馬入C	アグリズ	試合	勝	負	分	得点	失点	得失	勝占
ウイト東海岸オールド	*	2 Δ 2	5 0 3	1 ● 2	0 Δ 0	5 0 1	0 ● 3	5 0 0	2 0 0	5 0 0	⑤ 0 0	⑤ 0 0	7 0 0	12	8	2	2	42	11	31	26
鶴が台オールド	2 Δ 2	*	2 0 0	3 0 1	1 Δ 1	1 0 0	0 Δ 0	6 0 1	0 ● 1	2 0 0	4 0 3	1 0 0	14 0 0	12	8	1	3	36	9	27	27
FC今宿オールド	3 ● 5	0 ● 2	*	2 0 1	2 0 1	1 ● 2	6 0 0	1 ● 3	2 0 0	2 0 1	8 0 1	2 0 1	3 0 0	12	8	4	0	32	17	15	24
FC鶴嶺オールド	2 0 1	1 ● 3	1 ● 2	*	1 ● 2	2 0 1	2 0 1	2 0 0	3 0 1	0 ● 1	⑤ 0 0	4 0 1	13 0 0	12	8	4	0	36	13	23	24
湘南茅ヶ崎FC赤羽根	0 Δ 0	1 Δ 1	1 ● 2	2 0 1	*	1 Δ 1	5 0 2	1 Δ 1	2 0 1	5 0 0	3 0 1	3 0 1	7 0 0	12	7	1	4	31	11	20	25
浜見平OYA-G	1 ● 5	0 ● 1	2 0 1	1 ● 2	1 Δ 1	*	1 0 0	1 0 0	0 ● 8	1 0 0	1 0 0	2 0 0	3 0 0	12	7	4	1	14	18	-4	22
松浪SCオールド	3 0 0	0 Δ 0	0 ● 6	1 ● 2	2 ● 5	0 ● 1	*	3 0 2	1 Δ 1	1 ● 3	7 0 0	0 Δ 0	7 0 0	12	4	5	3	25	20	5	15
1FC茅ヶ崎四十雀	0 ● 5	1 ● 6	3 0 1	0 ● 2	1 Δ 1	0 ● 1	2 ● 3	*	0 Δ 0	1 ● 2	0 ● 1	0 ● 1	0 ● 5	12	1	9	2	8	28	-20	5
FC浜須賀オールド	0 ● 2	1 0 0	0 ● 2	1 ● 3	1 ● 2	8 0 0	1 Δ 1	0 Δ 0	*	2 0 1	7 0 1	3 0 1	2 0 0	12	6	4	2	26	13	13	20
S. F. C	0 ● 5	0 ● 2	1 ● 2	1 0 0	0 ● 5	0 ● 1	3 0 1	2 0 1	1 ● 2	*	1 Δ 1	0 ● 1	6 0 0	12	4	7	1	15	21	-6	13
みずきFC	0 ● ⑤	3 ● 4	1 ● 8	0 ● ⑤	1 ● 3	0 ● 1	0 ● 7	1 0 0	1 ● 7	1 Δ 1	*	1 0 0	5 0 3	12	3	8	1	14	44	-30	8
馬入クラブ	0 ● ⑤	0 ● 1	1 ● 2	1 ● 4	1 ● 3	0 ● 2	0 Δ 0	- 0	1 ● 3	1 0 0	0 ● 1	*	3 0 0	12	2	8	1	8	21	-13	6
アグリズ	0 ● 7	0 ● 14	0 ● 3	0 ● 13	0 ● 7	0 ● 3	0 ● 7	5 0 0	0 ● 2	0 ● 6	3 ● 5	0 ● 3	*	12	1	11	0	8	70	-62	3

注：0-③は不戦敗で、勝点-1

2023年度 4種リーグ戦 4年振りの開会式



2023年度4種リーグ戦開会式が、4月16日しおさいグラウンドで行われた。

市内4種13チームの3年以上が、一同に集まった開会式は、2019年以来の4年振りの開催である。協会、4種委員長挨拶、競技規則の説明後、前年度の各カテゴリー優勝チームからの優勝カップ、前年度Aリーグ優勝の小出SCより優勝旗の返還が行われた。その後、各チーム代表による紹介が行われ、今年の意気込みなどを発表した。最後に選手宣誓（小出SC：三橋拓翔君）があり、シーズンの開幕となりました。

一年間どのチームも切磋琢磨し、熱戦を期待しています。

開幕戦は4年リーグから

2023年度4種リーグ戦開会式後、開幕戦は4年リーグからスタートしました。対戦カードは、小出SC vs FC浜須賀で0-1で浜須賀が勝利しました。



～コーナーフラッグ～

茅ヶ崎サッカー協会 広報委員会委員長 小林省吾

ワールドカップの日本代表の躍進に沸き、長友選手のブラボー！を子どもたちが真似をして、サッカー人気も安泰かと思えた昨年・・・。

今年3月のWBCでの日本代表大谷選手の活躍に日本中が注目し、14年振りの優勝を果たした。その中でも、ヌートバー選手のペッパーミルのパフォーマンスが人気となり、高校野球やプロサッカー選手が真似るほどに・・・。スポーツ選手のパフォーマンスは、プレー以外でも影響があると改めて感じました。

▲スポーツ選手と言えば・・・。

第一生命は2023年3月16日、全国の小・中・高校生を対象に行った「大人になったらなりたいもの」のアンケート調査結果を発表した。

小学生男子のランキングでは、前回から変わらず1位「会社員」、2位「YouTuber／動画投稿者」、3位「サッカー選手」が入り、スポーツ選手への憧れは、令和の時代になってもあるなぁと安心しました。

このアンケート調査の小学生世代を中心とする、5歳から12歳くらいをゴールデンエイジと言います。子供の身体能力、運動能力が著しく発達する時期のことで、体の動かし方や技術を短時間で覚えることができる、一生に一度だけの貴重な年代だそうです。

ゴールデンエイジの育成には、サッカーの技術習得だけではなく、普段の遊び方にも関係してくるそうで、様々な遊びの中で、体幹を鍛える事が発達に繋がるそうです。

貴重な年代を過ぎてしまった皆さんも、子ども達と一緒に遊びながら、体幹を鍛えてみては・・・。